



ギャラリーの前に立つヒロミさん(左)とトッシーさん

新宿区

作業所をギャラリーに

みのり舎、アートに力

関東・甲信越静

社会福祉法人特別区
社会福祉事業団が運営
する障害福祉サービ
ス事業「みのり舎」(東
京都新宿区)は、作業
所全体をギャラリーに
して作品を販売するな
ど利用者のアート活動
に力を入れている。
みのり舎の利用者は

約20人。そのうち4人
の専属アーティスト
が、寄付された絵の具
やペン、廃材などを使
って個性的な作品を生
み出している。

きつかけは新型コロナウイルス
ナウイルスだった。
それまでは、就労継
続支援B型として箱の
組み立て作業や、地域
の緑化作業などを行っ
ていたが、受注が激減

新しい取り組みを試行
錯誤したという。
「利用者がワクワク
できる仕事を考えた結
果、アートなど未知の
世界にチャレンジする
ことを決めた」と、職
員、濱津敬さんは言う。

アートの販売に向け、
売買契約書なども作
成。所有権や著作権を
明確にした。
第1号アーティスト

のヒロミ・レトリパー
ーさんは「書道やピア
ノなど過去の経験を生
かして、素敵なアート
制作に力を入れたい」
と話す。コピー染め
などを手掛けるトッシ
ーさんは「もつと多く
の人に覚えてもらえたら
うれしい」と期待する。
みのり舎は作業ルー
ム全体を常設ギャラリ
ーとして開放し、見学
者をいつでも受け入れ
る方針。後藤奈巳施設
長は「今年度は作品展
やマーケットに積極的
にエントリーし、利用
者のプライドを高めて
いきたい」と話してい
る。(鮫島隆誌)

道 人と地域を元気に

北海道・東北

された。販売開始時間
には多くの市民がフキ